

平成 27 年第 5 回 日本救急医学会 男女共同参画推進特別委員会 議事録

日時：平成 27 年 11 月 5 日（木）10:00～12:00

場所：日本救急医学会事務所

出席：

委員長 畝本 恭子

委員 岡田 昌彦

木田 真紀

角 由佳

並木 淳

並木 みずほ

担当理事：田中 裕

欠席：

委員 阿南 英明

木村 昭夫

長谷 敦子

本多 ゆみえ

矢口 有乃

議事

1. 第 43 回日本救急医学会総会学術集会 委員会企画報告

(1) 男性もは入れる「女性救急医師ラウンジ」

1. 利用者数：186 名（男性 93 名、女性 93 名）

2. 担当者からの報告

- 例年よりひとりの滞在時間が長い傾向があった。
- ロールモデルのスライドが好評
- ‘行岡代表理事と…’の時間、数名の女性医師が参加
- いろいろな施設長等の先生方と、若い女性医師がゆっくり対話する機会があった。
- ラウンジで記載していただいたアンケート結果を紹介

3. 次回以降の課題

- 看板が小さく目立たない。参会者の動線に合うロケーションを希望
- もっと発信力をもった内容を検討する必要がある。

- 働きやすい施設（'ホワイト'施設）を紹介する。（リクルートではなく、他の施設の参考となるような）というのにも必要では
 - 会期中にランチョン形式で懇親できる場を。
- (2) ワークショップ '君は一生救急医を続けられるか'
- 新専門医制度のセッションと同じ時間帯だったなど、動員数に影響が出たが、内容は充実しており、鳥取大学の山田先生の講演等も好評だった。
- (3) 次回の企画：今後相談。一般企業の男女参画に関する特別講演や、労働に係る法律講座など
2. 今後の活動について
- (1) コアメンバーの参画：若手医師、その配偶者の医師、施設長など様々な立場のメンバーが登録
1. コアメンバーが集まる企画
 2. メールリストの活用
 - 救急医からの相談応需
 - ロールモデル紹介：ラウンジで公開したスライドを増やす
- (2) ホームページの充実：現行の通り、学会のHPのバナーからリンクする
1. 'ホワイト'救急施設をピックアップ
 - 日本救急医学会 本委員会名でアンケート作成、送付
 - 3月発送、4月中に回収
 - 内容：若手医師の参考になるような
 - ◆ 男女医師数
 - ◆ 雇用形態（常勤、非常勤、時短常勤、パートなど）
 - ◆ 育休（男女とも）、介護休暇の規定
 - ◆ 託児所の整備状況（院内、提携、病児）
 - ◆ 勤務形態（シフト性、当直性）
 - ◆ 当直室等のアメニティ
 - ◆ 復職支援プログラム、標準化講習受講支援の有無
 - ◆ 女性救急科専門医、指導医数 等
 2. 学生・研修医部会とのコラボレーション
 - 男女共同参画に関するセミナー
 - 専門医施設見学：条件や施設名で検索
 3. 既に商業誌等で扱われた記事とのリンク
3. 次回開催 平成28年1月28日（木） 10:00～12:00 日本救急医学会事務所